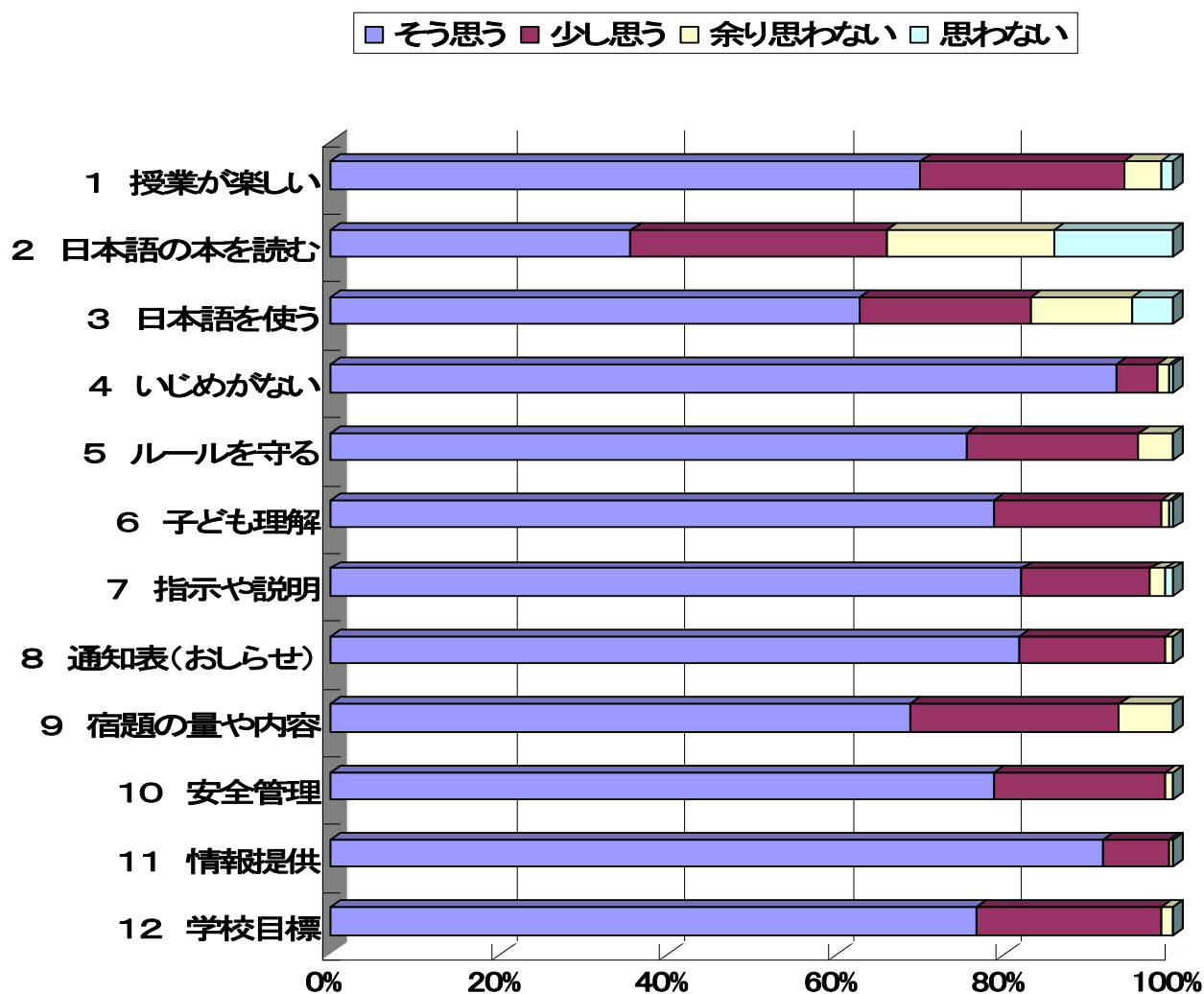


平成27年度 学校教育アンケート 集計結果

アンケートの集計結果をお知らせいたします。家庭数304の内、昨年度(54件)の4倍以上の230件の回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。以下に全体集計のグラフを掲載いたします。その後、項目毎の分析結果を記述いたします。



## 設問ごとの集計について

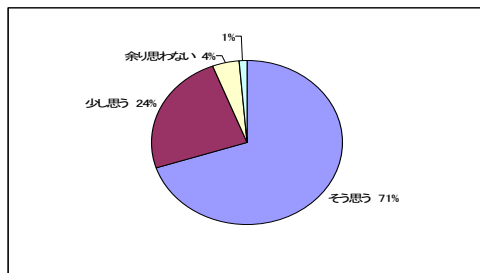
アンケート用紙の表面12項目及び裏面3項目について、項目毎のグラフを掲載すると共に分析結果を記述しています。また、自由記述は項目毎に集約して設問と回答を掲載しています。

### <学校生活について>

◆ここでの5項目で、Q1、Q4、Q5については、肯定的評価の合計(「そう思う」+「少し思う」)が95%以上と高い評価を得ています。Q2、Q3については肯定的評価の合計が Q2:66%、Q3:83%と比較的低く、今後の課題の一つと認識しています。それぞれについて分析結果を記述いたします。

**Q1:**「子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。」

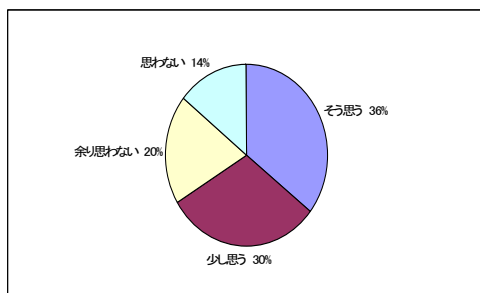
肯定的評価の合計が95%と高い評価を得ています。今後も楽しくわかりやすい授業づくりに努力して参ります。



**Q2:**「子どもは、進んで日本語の教科書や本を読んでいる。」

肯定的評価の合計が66%と低い結果を三者(学校、保護者、子ども)が共有し、以下の「例」にあるような手立てを講じながら、子どもたちが日本語に興味・関心を抱き、進んで取り組む態度を身につけることができるように、粘り強く努力を積み重ねていく所存です。

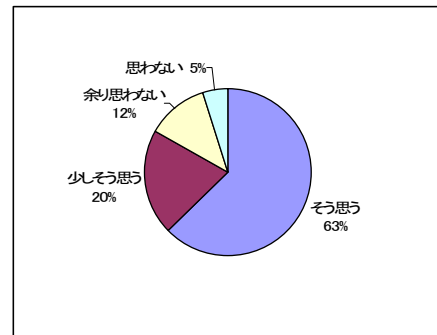
「例」:①授業開始前や休み時間の読書タイム。②授業や宿題での教科書音読の促進。③外で遊べない昼休みの「読み聞かせ」活動。④図書室と連携して本に親しむ企画を考える。



**Q3:**「子どもは、進んで日本語を使っている。」

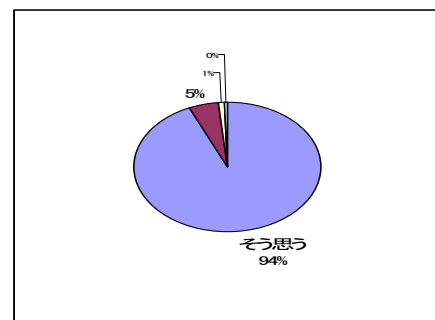
肯定的評価の合計は83%ながら、他の項目に比べて少し低い値です。この項目についてもQ2と同様に、課題を三者が共有し、以下の「例」等を粘り強く取り組んでいく所存です。

「例」:①校内では授業中はもとより、休み時間も日本語を使用する。②家庭においては、さらなるを日本語環境の充実をお願いする。



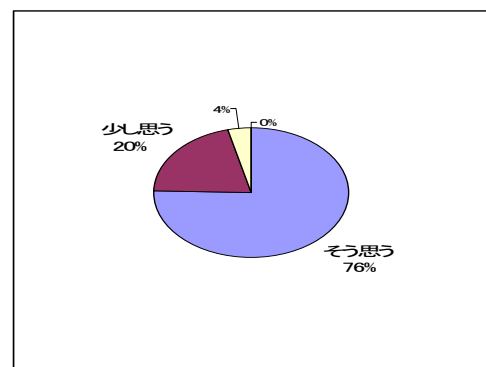
**Q4:**「子どもは、いじめのない学校生活を送っている。」

肯定的評価の合計が99%でした。今後もいじめのない学校づくりを目指していきます。



**Q5:**「子どもは社会や学校のルールを守る態度を身につけている。」

肯定的評価の合計が96%でした。今後も子どもたちが様々なルールを守る公正な態度が身につくように指導を続けていきます。

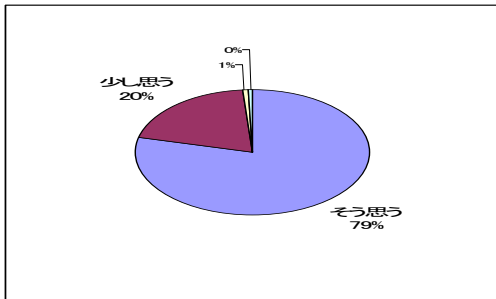


## <教師について>

◆Q6～Q8の3項目は、いずれも肯定的評価の合計（「そう思う」+「少し思う」）が97%以上で高い評価をいただいています。ただし、Q9の宿題に関する項目の肯定的評価の合計は、94%と若干低い値を示しています。

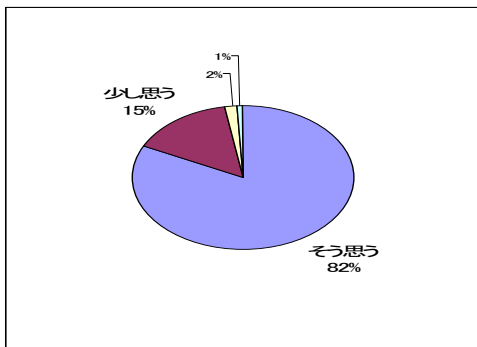
**Q6:**「教師は子どもをよく理解している。」

今後も、1人ひとりの子どもの理解に努め、個に応じた指導を進めていきます。



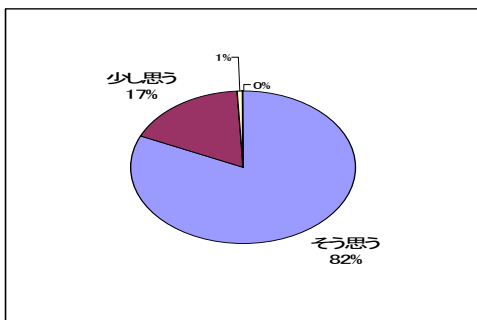
**Q7:**「教師は、学習理解を深めるために教材を工夫したり、指示や説明をわかりやすくしている。」

今後も、子どもたちに分かりやすい授業づくりを進めていきます。



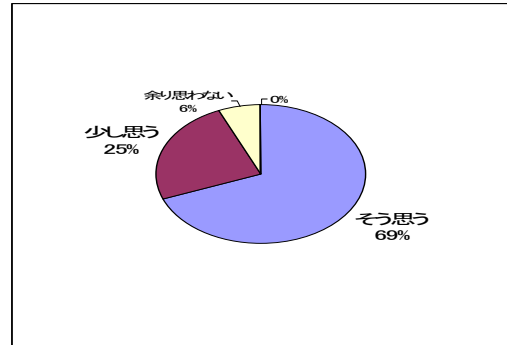
**Q8:**「通知表(おしらせ)は、子どもの学力や学習の様子をわかりやすく伝えている。」

今後も、分かりやすい通知表(おしらせ)の作成に努力いたします。



**Q9:**「宿題の量や内容は適切である。」

宿題については個々の子どもの実態やニーズに合わせた対応も時には必要な場合があります。その際には担任と連絡を十分取り合いながら進めていただきたいと思います。

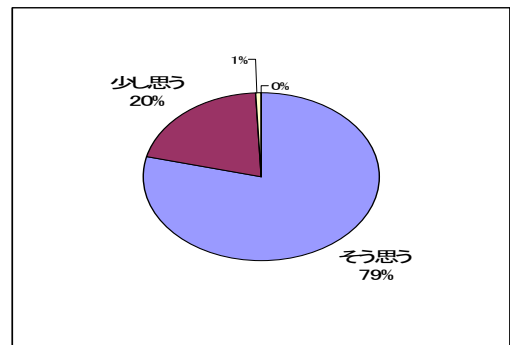


## <学校経営に関するもの>

Q10～Q12の3項目は、いずれも肯定的評価の合計（「そう思う」+「少し思う」）が99%で、高い評価をいただいています。今後も、安全管理、情報提供、そして学校教育目標の実現に向けて教職員一同努力して参ります。

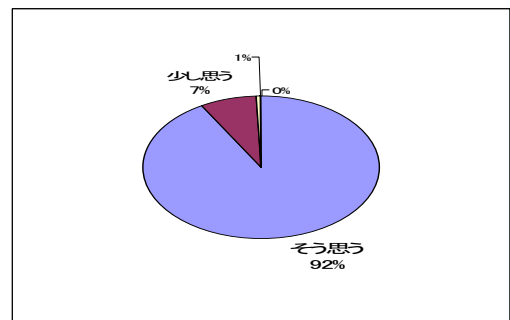
**Q10:**安全管理

「学校は、危機管理や児童の安心・安全対策に力を入れている。」



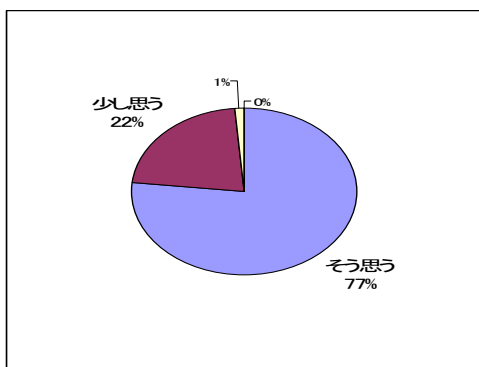
**Q11:**情報提供

「学校は、授業参観・懇談会、学校だより、ホームページ、メール配信等で、子どもの様子や教育方針等を知らせている。」



## Q12: 学校目標

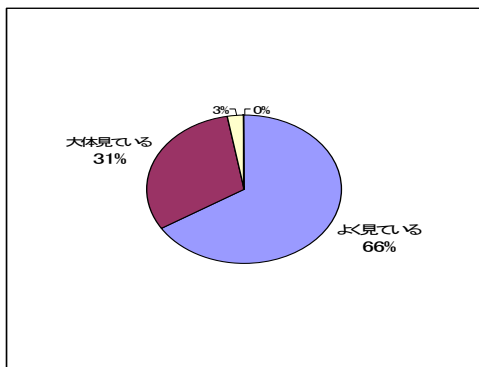
「学校は、学校教育目標を周知し、その実現に向けて努力している。」



### <滞在期間等について>

**裏面Q1:**「学校からのメール等は、どの程度ご覧になっていますか。」

「よく見ている」66%と「大体見ている」31%の合計97%の皆様が学校からのメール等の連絡をご覧になっていることが分かりました。今後とも学校からの情報をご覧いただきますよう、よろしくお願いいたします。



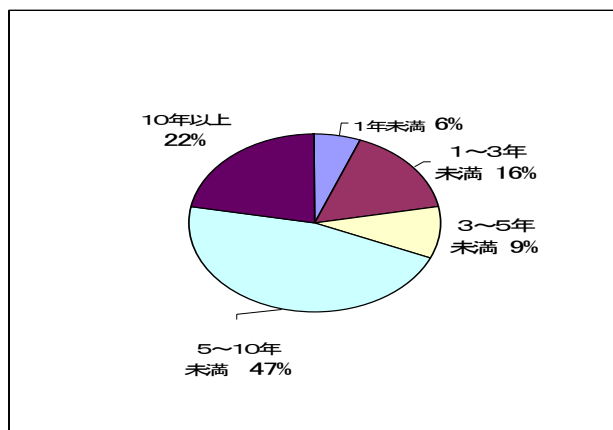
**裏面Q2:**「お子さまの今までの海外滞在期間について教えてください。」

「5年～10年未満」が47%、「10年以上」が22%と、5年以上の長期滞在者が全体の約7割を占めています。このことは、過半数の子どもたちが日本語よりも英語が優位であることを示唆しています。

このような実態は、多くの米国内の補習授業校にお

いて生じている状況であり、日本語力に応じた多様な指導を行うことが課題となります。ただ、「日本語力の格差」がすぐに永住組と帰国組のクラス編制につながることは考えておりません。このような学級編制は過去に実施され、結果としていくつかの課題が生じて元の学級編制に戻した経緯がございます。

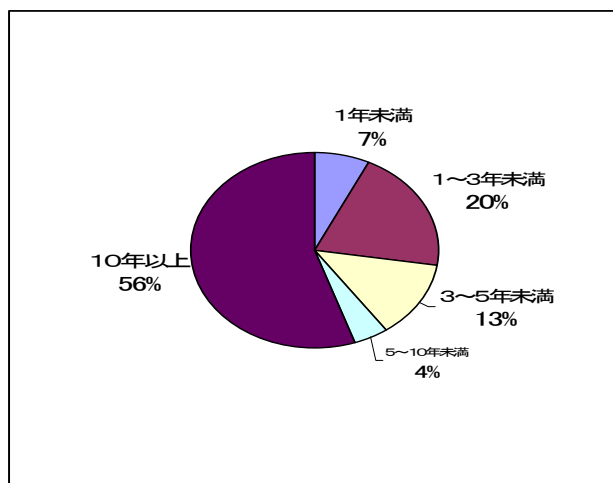
今後は、このような実態を踏まえて、多様な子ども達が共生し共育していくことがメリットになるような指導や教材教具の工夫、授業展開などを研究し、実践していくことが大切と考えます。



**裏面Q3:**「お子さまの今後の海外滞在期間について教えてください。」

10年以上が56%と、過半数を占めています。

一方、5年未満が40%（1年未満7% 1年以上～3年未満20% 3年～5年13%）でした。このことは、10年以上の長期滞在者と5年未満に帰国する子どもとの二極化が今後さらに進むことを示唆しています。この結果は、Q2とともに本校の大きな課題の一つと捉え、今後の学校経営上の大事な資料の一つとしていきます。



## <自由記述について>

今回のアンケートでは、自由記述欄を設けさせていただきました。全部で72件のご意見が寄せられました。(課題に関する内容18件、感謝やお褒めの言葉54件)

皆様の**ご意見**につきましては、学校改善のための重要な手がかりと受け止めて、いくつかのジャンルにまとめて**回答**を掲載させていただきました。

また、感謝やお褒めの言葉も教職員の励みになりますので最後に掲載させていただきました。

### <日本語使用について> 4件

**ご意見**: 補習授業校に通っている間は日本語のみの生活をして欲しい。学校としては、どのように捉えているのでしょうか。(幼児部1件、初等部2件、中等部1件)

**回答**→本校の学校教育目標の第一番目は、「日本語能力の伸長」です。この目標のために補習授業校があるといっても過言ではありません。その意味で、本校に来たら日本語で生活することは当然のことです。ただ、日々の慣れから、ついつい子どもたちの英語での会話を見過ごしてしまう場面が見受けられます。授業中はもちろん休み時間も日本語で過ごすように促していきたいと思います。教職員にも指導の徹底を図ると共に、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

### <帰国組、永住組の学級編制について> 3件

**ご意見**: 日本語修得度合いによって、日本進学組と永住者組のクラス割りをしてはいかがでしょうか。

(初等部3年、中等部2年2件)

**回答**→近年、米国に長年居住されているご家庭が増えている現状から、このような提案をされることは理解できます。

しかしながら、以前本校において標記のような学級編制を行った時期がありましたが、数年(4年間)で元の制度にもどりました。その大きな理由は、じっくりコース(日本語力が十分でないコース)の希望者が減り、クラスの維持が難しくなったことと、両クラスの日本語格差が広がるとともに補習校での共存意識が薄れ、学校運営上

様々な支障(例えば、一方の組の子どもたちの意欲が極端に低下した。一方が他方を見下す態度が見られた。等)が生じたと聞いています。

また、中等部の国語科において「アドバンス及びレギュラークラス」の取り組みが1998年から10年ほど父母の会が中心となって実施されましたが、8年前にやめることになりました。

今回のご意見につきましては、今後の検討課題の一つとさせていただきます。

### <授業日について>

**ご意見**: 授業日について 2件

▲THANKSGIVINGの週の土曜日、クリスマスの週の土曜日、二つのアメリカ国民の祝日の週はぜひ休校にしていきたい。(初等部2件)

**回答**→米国の祝日は本校も同様に休業日にすべきだと考えます。しかし、この両日につきましては様々な検討(6月や7月の日曜日を授業日にする。雪対策日を減らす。等)をしましたが、今のところ借用校との関係や日程の都合で他の日を授業日に振り替えることは難しいところがございます。授業日数の確保の観点から、ご理解をお願いいたします。

### <防犯対策について> 2件

**ご意見**: 各種イベントの際などの不特定多数者の入退場に対して安全性に不安を感じます。「内側から絶対に開けない、面倒でも必ず常時開放のドアから入る」の周知徹底をお願いします。(幼児部1件、初等部1件)

**回答**→確かにパラマス校の行事の折には、関係者とはいえ不特定多数の人々が入り出しています。借用校であるためにやむを得ない状況がありますが、担任が教室での子どもたちの安全確保を図り、警備員(現役の警察官)を配置して巡回をお願いしているところです。校長・教頭も校内を巡視しております。

また、扉の開閉につきましては、お話のように内側からは安易に開けないように教職員に周知すると共に子ども達にも指導していきます。また、保護者の皆さまにもご協力をお願いしていきたいと思っております。

### <登校渋りについて> 2件

**ご意見**:子どもが時々補習校に行きたくないと言っています。理由は、①「国語と算数しかない」②「学校行事が少ない」(勉強だけの学校)③「宿題が多い」(宿題が一番の理由だと思います。親も多いと感じています。)改善をお願いいたします。(初等部2件)

**回答**→①につきましては、週1回の授業なので国語と算数の授業が中心になりますが、少しでも興味・関心の持てる授業を工夫しているところです。また、低学年では生活科、3年生以上は社会科の授業を取り入れて、日本の生活習慣や文化、歴史の学習を行っています。②については、43回の限られた授業日ではなかなか新たな行事を増やすことは出来ませんが、長い昼休み(55分間)や児童会・学年行事が年数回計画され、授業以外で少しでも楽しい学校生活を送れる工夫を重ねているところです。③については、担任にその量や内容について相談していただき、お子さんの意欲が持続できるような手立てを一緒に考えていきたいと思っています。

### <その他> 5件

#### <漢字学習について>

**ご意見**:▲日本語が日常に必要な生活での漢字学習は非常に難しく、家での学習も苦勞しています。

(初等部)

**回答**→本校に通う子どもたちの日本語環境はご家庭と補習授業校に限られ、日本語を学ぶ子どもたちにとっては不利な状況ではありますが、第一にすべきことは「漢字は楽しい」「漢字は好き」という気持ちを育てることではないでしょうか。「楽しい、好き」は「もっと学びたい」という意欲につながります。そのためには様々な工夫(音読で自信をつける。漢字テストが出来たらほめる。漢字カードで繰り返す。丸暗記ではなく意味や成り立ちを意識する。等)で漢字への意欲を高めていただきたいと思います。また、日常で使う漢字ほど定着率が高まりますので、家庭での日記や手紙で習った漢字を意識的に使ったり、トイレやお風呂に掲示したりして定着を図ってはいかがでしょうか。

### <個人面談について>

**ご意見**:▲個人面談をしていただきたい。(初等部)

**回答**→確かに個人面談はより深い子ども理解につながり、そのことがより良い指導につながると考えます。しかしながら、いくつかの想定される課題(借用校の為、放課後の時間と場所の確保。保護者と教員の日時調整等の課題。)があるために、学校行事とすることは今のところ難しいと考えます。尚、個人的なご相談はお気軽にお寄せください。

#### <幼児部の言語指導>

**ご意見**:▲幼児部でのひらがな、カタカナの習得、漢字の導入を希望します。(幼児部)

**回答**→文科省の「幼稚園教育要領」の5つの目標の中に「言葉の教育」があります。その中の「文字教育」について、本校も年長クラスで、鉛筆の持ち方を指導し、自分の名前を書けるようにしたり、平仮名に興味を持たせて読んだり書いたりする取り組みをしています。漢字については、今のところ読み書きは導入しておりませんが、今後の課題としています。

#### <子どもへのアンケート>

**ご意見**:▲学校アンケートを子どもたちにすることで、教師がより正確な情報を得られ、授業の向上につながると考えます。(初等部)

**回答**→子どもたちにアンケートを実施することは教師の指導力の向上には有効な手立てだと思います。日本においても、中・高等学校で学校評価の一環として実施しております。今後、実施の可能性について検討したいと思います。

#### <ガム対策について>

**ご意見**:クラスの床や机にガムが落ちています。とても気になります。(初等部)

**回答**→ガムについては、こちらから借用校へ要望を出し、生徒にも注意してもらっているところです。また、夏休みに全ての教室のガム等の除去をしていると聞いています。授業に支障をきたす場合はその都度メンテナンスの担当者をお願いして除去してもらっていますので、目に余るようでしたらお知らせ下さい。対応させていただきます。



## お褒めの言葉 54件

**回答**→感謝の言葉やお褒めの言葉は教職員にとって大きな励みと共に明日からの元気につながります。

教師が明るく元気な学校は子どもたちも明るく元気になります。教えることが楽しい教師は、学ぶことを楽しむ子どもを育てます。

今回皆さまからいただきました貴重なご意見を大切にしながら、子どもたちの笑顔がいっぱいのニュージヤージー補習授業校になるように、教職員一同一所懸命努力させていただきます。今後ともご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### <教職員に感謝>

#### 幼児部

- ◎子どもは担任が大好きで、先生がお休みになって会えなかったのが悲しくて帰宅してから泣いていました。それほど毎週楽しみにしています。
- ◎毎週楽しく通わせて頂いております。安らぎの場所です。
- ◎土曜日を楽しみにしています。平仮名、片仮名への興味も出て、本当に感謝です。
- ◎担任が大変熱心で、子どもの事もよく目を配らせていて、安心して通学させることが出来ます。
- ◎先生方の指導に大変満足し、感謝しています。

#### 初等部

- ◎子どもたち、私たち親への対応、学級便りの内容一つ一つに先生の愛情、温かい気づかい指導を感じる事が出来、娘も一生けん命それに答えようと母娘ともどもがんばっています。
- ◎先生はとても一生けん命やってくださっているので、とてもありがたいです。息子も先生が好きなので、補習校に行くことを嫌がることもありません。良い先生に恵まれ、本当によかったです。最近、宿題も負担にならなくなりました。
- ◎毎週のメール、子どもたちの様子、授業の進捗など細やかに説明していただきとてもありがたく安心できます。日本の学校より、そういった面では親身になっていただいていると感じています。
- ◎一年生という大事なスタートを先生の下で始めることがで

きて本当に感謝しています。

- ◎母親は第2の先生と言われますが、担任の熱心な指導のお陰でそれが少し実現できている気がします。補習校の先生にこんな方がいらっしゃると思ってもせず、本当に感謝の思いでいっぱいです。
- ◎先生は、こちらの頭が下がるほど、熱心に教えて下さっています。こういうすばらしい先生にめぐりあえたのは、すごい縁とLUCKでした。
- ◎素晴らしい先生に教えていただき大変感謝しています。
- ◎家でも授業の様子を嬉しそうに話しています。
- ◎毎週授業内容などのメールをくださるようになったので、とても助かります。
- ◎先生のコメントは楽しく、親子で毎回見て喜んでます。
- ◎娘は学校が大好きでクラスであった事をよく話してくれます。子ども達がのびのびと過ごしている様子やクラスが丸丸となって活動している様子が伝わってきて嬉しく、担任には本当に感謝しています。
- ◎子どもの個性を見極めて指導する先生で、とても感謝しています。
- ◎教えるテクニックと同時に思いやりや愛も大切です。先生には、子どもたちへの愛を感じているので、安心感を持っています。
- ◎良い先生に恵まれ、勉強も理解しているので安心してます。漢字もきちんと覚えて帰ってきているのは、先生方のお陰です。子ども達も先生のことが好きなので、補習校を嫌がることはありません。どうもありがとうございます。
- ◎いつも子どもたちの好奇心を刺激する授業内容を考えていただき大変感謝しています。
- ◎クラスの雰囲気良く、授業もわかりやすいので、毎週とても楽しく補習校に通っています。ぜひ来年も先生を担任にお願い致します！
- ◎週1回の日本語の勉強で、どの子も漢字や国語の能力が高く驚きました。とても感謝しています。
- ◎先生が毎週、子どもたちの様子や学習進捗についてメールで知らせて下さるので、とてもありがたく、助かります。
- ◎初等部の最終学年を先生に担当いただき、とても有難く感謝しています。
- ◎先生方、そしてクラスメイトとそのご家族にも恵まれてい

る学年で、なんの不満もありません。補習校に大きな期待を寄せております。

◎先生はすばらしく、親もやる気満々だが、肝心の本人が学校ぎらいでやる気が出ません。しかし、先生はそんな子も受け入れ、あきらめずにいつも宿題に素敵なコメントを付けて下さるので感謝しています。

◎幼児部の時から現在まで、1度も補習校を辞めたいと言った事もなく、毎週とても楽しく通わせて頂いていることに感謝しています。日本語を話すお友達との交流も本人には大切な宝となっている様で、今後も続けて行きたいと強く希望しております。

### 中・高等部

◎先生が丁寧に教えて下さり、また理解いただけるので、がんばれると言ってありますが、チャンスがあれば休みたいというのも本音の様です。あせらず継続させていきたいと思えます。

◎好きな数学ができるのが嬉しそうです。国語は苦手意識が払拭されて、自信が少しついた様です。いつも有難うございます、今後ともよろしく願いいたします。

◎クラスのムードがとても良く、楽しそうに過ごしています。先生の教え方が分かりやすい。学習以上に学校生活を楽しくんでいる様で、本当にありがたく思っております。

### 校長・教頭

◎ほぼ毎朝、校長先生や教頭先生が朝のあいさつに立たれているのが、とても気持ち良いです。NON-JAPANESEの夫もいつも感心しています。

◎校長先生、教頭先生が教室や校内を、よく見回って下さっているのは頼もしく感じます。

◎校長先生と教頭先生の任期、保護者からの要望で延長していただければ、長期的プラン等も立てられ、補習校の運営等も安定し、多くの利益が得られるように思います。

◎これからも先生方と学校の質の向上にご尽力を願います。

◎校長先生、教頭先生の熱心なご指導と適切なアドバイス、有益な情報の提供に大変感謝しています。

◎入学式、始業式で校長先生の「楽は苦の種、苦は楽の種」子どもにも言って聞かせています。

◎今年度の入学式、始業式で校長先生がしたためてくださった「楽は苦の種、苦は楽の種」のお言葉、骨にしみ、子どもにも言って聞かせております。

もにも言って聞かせております。新年度のスタートにふさわしい、素晴らしいお言葉をありがとうございました。

◎校長日記は、今まで知りえなかった他学年の様子や先生方の平日の活動が垣間見えて、一層感謝の思いが募ります。

◎校長先生に深く感謝しております。

### <補習授業校への感謝>

◎楽しく、毎週学校に通っています。

◎日本語の教育環境としてとても満足です。

◎学校行事や父母会のイベント、クラブ活動など、様々なチャンスは、ありがたいです。

◎「日本語で話そう」のポスターは今後も継続して下さい。保護者も子どもたちに、「日本語で」と声をかけやすく有効です。

◎学校のシステム、先生方はとても素晴らしいと思います。授業、教育内容も子どもたちがどんどん漢字なども覚えていき感謝でいっぱいです。

◎週に1回、日本語を学び、ふれる場があることに感謝しています。

◎本当に素晴らしい学校だと思います。

◎今まで（小2～小6）補習校に通えない地域におりましたので恵まれた環境に感謝しています。

◎日本をバックグラウンドに持つ子女が学舎を共にする場合は非常に貴重だ。これからもどうぞよろしくお願い致します。

◎アンケートをして頂きましてありがとうございました。

◎日本語で友達と話せるホッとできる場として一週間に一度の補習校を楽しみにしています。

◎先生方、事務の方々みな様が熱心にされ、本当に頭の下がる思いでおります。

### <図書室の充実>

◎図書室の充実、素晴らしい、感謝致します。

◎図書室の充実ぶりに感謝しています。

### <父母会だより、補習校だより>

◎毎週水曜日の父母の会便り、月一回の補習校便りも楽しく、そして「ためになるなあー」と感心しながら読ませていただいております。